和歌山大学『クロスカル教育機構研究紀要』執筆要領

１．　書式概要

⑴原稿の長さは、原則として論文 30 ページ程度、その他 15 ページ程度を上限とする。

⑵ MS-Word を使用して作成し、A4 用紙に横書きとする。使用言語は原則として英語または日本語とする。和文は「MS 明朝体」、英文は「Times New Roman または Times」、文字サイズは和・英文とも本文は 11 ポイント。段組みはせず、1 行に和文 40 字、英文等半角 80 字、1 頁 35 行とする。余白上下左右 25 ㎜程度。和文の句読点は和文句読点、英文カンマ・ピリオドどちらでもよいとする（各分野の慣例に従う）。

（3）表題、執筆者名、本文、（図・表）、注、参考（引用）文献、必要なら「付記」（学会発表加筆修正等）「謝辞」（助成金等）、の順に原稿を作成する。注は、本文の末尾にまとめ、脚注としない。図、表は本文中に挿入、または本文の後にまとめ、通し番号を付す。

２．書式詳細

原則として APA（第 6 版）に準ずるが、詳細については、各分野の慣例に従うものとする。

（1）冒頭ページ

１．タイトル：18 ポイント、ボールドでセンタリング。執筆言語を中心に和英/英和を併記する。

２．執筆者氏名・所属：12 ポイント、ボールドでセンタリング。執筆言語を中心に和英/英和を併記する。共著で役割や担当章分担の場合、明記すること。必要であれば著者注（Author Note）を付けても良い。

３．Abstract：氏名・所属の後に 1 行あけ、本文の執筆言語によらず英文で Abstract を 150～250words 程度で記す。先頭の字下げはしない。11 ポイント。

４．キーワード：Abstract の後に 1 行あけ、執筆言語を中心にキーワード/ Keywords または Keywords/ キーワードの順に 5 つ程度挙げる。11 ポイント。

５．本文：キーワード/Keywords の後に 1 行あけ、本文を始める。

（２）本文の章立て、字下げ等

１．字下げ：和文 1 字、英文 5 ストローク

２．章：1.　2.　3.　…と通し番号をつけ、ボールド。センタリングはしない。章の前は 1 行空ける。

３．節：2.1　2.2　2.2.1　3.1　3.2　4…のように通し番号をつけ、ボールド。センタリングはしない。節の前は 1 行空けない。

例：

１．はじめに

○○○○○○・・・

２．先行研究

2.1　処理可能性理論

○○○○○○・・・
○○○○○○○
2.2　日本語学習者の学習傾向分析
2.2.1　大学日本語科のケース
○○○○○○・・・

３．研究方法
3.1　アンケート調査
○○○○○○・・・
○○○○○○○
3.2　分析方法

４.結果と考察

５．まとめ
○○○○○○・・・
○○○○○○○

（３）参考文献：基本的に APA（第 6 版）に準ずる。

First author last name, First author first name initial. First author middle name initial. (#### year of publication). Title of the journal article. *Name of the Periodical*, ## *volume number of periodical*(#issue number of periodical – if available), ### page numbers of article. http://doi.org/ ###### -if available

著者名（発行年）.「著者名または記事名」.『掲載誌名』巻. ページ.

例：

Eccles, J.S.& Wigfield, A. (2002). Motivational beliefs, values, and goals. *Annual Review of Psychology*, 53, 109-132.

木村友保、佐藤雄大、他（2013）.「日本のライティングセンター調査―日本人のための英語ライティングセンター構築の可能性」.『名古屋外国語大学現代国際学部紀要』9, 127-144.

Lee, A.Y.(2002). Effects of implicit memory on memory-based versus stimulus-based brand choice. *Journal of Marketing Research, 39*(4), 440-454. http://doi.org/c4j8zv

Plunkett, J. M. (2011). Bipolar disorder: Causes, diagnosis and treatment. Nova Science Publishers.

白井恭弘.（2012）.『英語教師のための第二言語習得入門』. 東京：大修館書店.

制定　2020 年（令和 2 年）10 月 1 日